

視聴覚教育時報

No.721 2020年 8月号

contents

- ▽令和2年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定
- ▽令和2年度 視聴覚・放送教育全国大会はオンラインで開催
生涯学習部会のセミナー・実践発表の内容決まる
- ▽令和元度 全視連研究プロジェクト「視聴覚教材・機器の保存と活用」報告書
- ▽郷土を疫病から守る公民館を描いた映画「公民館物語」(1954年)
放送大学千葉学習センター所長 長澤成次(月刊「公民館」8月号)
- ▽16ミリ映写機のメンテナンス コガタ社 中川 望
- ▽えすけーぷ

▽令和2年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定

各都道府県・指定都市教育委員会および各加盟団体の推薦により、令和2年度 第23回全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」6名が次の通り決定いたしました。なお、表彰式は例年「視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会」にて執り行っていますが、本年11月に大阪で開催の同大会はオンライン開催となったため表彰式は執り行わないこととなりました。

■山形県・曾根原 力(そねはら ちから)

昭和52年、15人のグループで「南陽8ミリクラブ」を結成、平成11年には同クラブの会長に就任し、現在まで43年間、一貫して郷土をテーマにした自作視聴覚教材を制作し、作品数は70本になる。置賜地区、山形県、全国自作視聴覚教材コンクールに毎年出品入賞している。自作作品の上映会開催や学校、図書館等社会教育施設に自作作品を寄贈し、郷土学習に対する市民への喚起や教材の活用を図っている。また、映像コンクール等のイベントによる地域おこし活動の実践や、置賜各市町をロケ地とした映画製作の現地スタッフとして支援活動も行う等、視聴覚教育の振興と南陽市芸術文化の振興発展に多大の貢献をしている。

■茨城県・横山典男(よこやま のりお)

昭和50年、公立学校へ赴任。昭和63年、16ミリ映写機操作認定証を取得。平成3年より国立磐梯青年の家へ赴任したことを契機に視聴覚教育との関わりが深まった。茨城県教育庁在職中は、社会教育関係団体の振興に努め、茨城県視聴覚教育振興会とも連携して事業を実践した。また、平成17年より2年間、公立小学校へ赴任した際には、茨城県教育研究会情報教育研究部長として、平成18年度開催の関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会茨城大会の企画・運営を中心となって実施し、大きな成果を収めた。退職後は、茨城県視聴覚教育振興会事務局長として3年間、視聴覚教育・情報教育の振興発展に尽くした。

■新潟県・服部裕行(はっとり ひろゆき)

昭和51年から平成26年までの38年間、公立中学校教諭・校長として奉職。教諭時代から専門教科の理科教育実践を中心に視聴覚機器・教材を活用した優れた実践を積み重ねてきた。平成元年からは三市南蒲地域視聴覚教育協議会で視聴覚教育主事を務め、視聴覚教材の作成・整備やコンピュータ研修会等を担当した。また、新潟県視

聴覚教育研究大会や研究実践校の校内研修会等で指導者を務めた。その後も新潟県立生涯学習推進センターや生涯学習推進課に勤務して研修の企画・推進、システム開発等に尽力し、視聴覚教育の礎となっており、新潟県の視聴覚教育・社会教育の振興に大きな貢献を果たしてきた。

■愛知県・渡辺幸人（わたなべ ゆきひと）

昭和56年から平成30年まで、公立小・中学校で奉職。昭和62年から、現職教研「現代文化と教育（情報・視聴覚）」部会にて推進員・助言者・部長などを平成28年までの間の12年間務めた。平成元年から、海部津島小中学校視聴覚ライブラリー自作教材制作研修会で講師・理事長を、同7年から3年間、海部郡津島市視聴覚教育特別研究会にて役員を、同8年から3年間、愛知県教育センター教育情報システム視聴覚教育専門部会にて委員を務めた。同26年から2年間、海部地区視聴覚教育研究会会長に就任するなど、関係諸団体の要職を歴任するなど、愛知県や尾張地区、海部地区の視聴覚教育の推進に大いに寄与した。

■大阪市・前川 弘（まえかわ ひろむ）

昭和48年、大阪市16ミリ映画社会教育協議会会員となり、以後現在まで22年間にわたり、社会教育の質の向上のため各区で地域活動や指

導者の育成、教材制作、映画の普及活動などを実施してきた。その後、16ミリ映画だけではなくビデオなど視聴覚教材の適正な利用の促進を図ることを目的に大阪市視聴覚教育協議会と改名し、平成22年には同協議会会長に就任し、現在至る。平成26年には大阪市旭区地域振興会会長に就任するなど、関係諸団体の要職を歴任。視聴覚教育を通じて地域の諸団体間の連携を深め、奉仕活動を実践するなかで、視聴覚教育の知識・技能を普及することに多大な貢献を果たしている。

■北九州市・角田将勝（かくた まさかつ）

平成15年、北九州市立視聴覚センター主催の16ミリ映写機操作技術講習会を受講し、同時に北九州市A・V・Eの会に入会、現在まで17年間活動を行っている。同会は昭和52年に発足、16ミリの映写講習を修了した同志の映写ボランティア団体であったが、会員の増加に伴い組織を7つの区会に細分化し、子ども会・町内会・自治会などで上映活動を実施。平成21年には同会門司区会副会長に、翌年には本部理事に就任し、会の運営と後輩の映写技術指導も行っている。80歳になる現在でも、各所を訪問し映写会を開催するなど、視聴覚教育の推進や青少年の健全育成に果たした役割は大きく、他者の範となるものである。

▽令和2年度 視聴覚・放送教育全国大会はオンラインで開催 生涯学習部会のセミナー・実践発表内容決まる

本年度の標記大会は令和2年11月13日（金）～14日（土）の2日間、新型コロナウイルスの関係によりオンラインにより開催することとなりました。1日目は主に公開保育・授業、研究交流を10会場校・園にて実施。2日目はワークショップ・セミナー、実践発表、全体会などを予定しています。ICT教材・機材やタブレット端末を活用した授業づくりや学習環境について、参加者と研究者がオンラインにより意見交換・情報交換できる場を設定します。

大会案内 <http://www.zenshi.jp/soutai.html>

このほど生涯学習部会のセミナー・実践発表についての内容が下記のように決定しました。なお本年は生涯学習部会は14日（土）のみの開催となり、理事会・センター総会は文書により実施いたします。

11月14日（土）

▽実践発表（9:00～10:30）

① 実践発表1（9:00～9:30）

- ・大阪市立総合生涯学習センターの事業紹介
- ・大阪市視聴覚教育協議会の活動紹介

② 実践発表2（9:30～10:00）

- ・丹波篠山市視聴覚ライブラリーの事業紹介
高見晴彦（同ライブラリー係長）

③ 実践発表3（10:00～10:30）

実践発表1および実践発表2を受け、質疑応答や意見交換を行う。

▽セミナー（10:40～12:10）

テーマ：「16ミリフィルムの未来を考える」

講師：丸山裕輔（全視連副専門委員長・新潟県阿賀町立五泉東小学校長）

司会者：村上長彦（全視連専門委員長）

参加者：全視連専門委員、全国の生涯学習関係者などがZoomにより参加。

▽令和元度 全視連研究プロジェクト「視聴覚教材・機器の保存と活用」報告書

全視連の専門委員からなる「地域メディアセンター構想研究部会」では、令和元年度の研究テーマを「視聴覚教材・機器の保存と活用」とし、これまで収集してきた視聴覚教材の保存と活用の状況と、保守が困難になっている機器のメンテナンスに関して、全国の視聴覚センター・ライブラリーの状況を調査し、現状を明らかにするとともに、活用方法を提言することを目的に実施した。

本報告書では「事例」として2名の専門委員が自身の所属するセンター・ライブラリーの実践に

ついて執筆した。

＜内容＞

- I. 研究の目的
- II. 研究の方法
- III. 研究の結果と報告
 1. 岩手県中央地域視聴覚ライブラリーの事例
 2. 埼玉県春日部市視聴覚センターの事例
- IV. 研究のまとめ

報告書の詳細については下記 HP 参照。

http://www.zenshi.jp/files/report_2020.pdf

▽郷土を疫病から守る公民館を描いた映画「公民館物語」（1954年）

放送大学千葉学習センター所長 長澤成次（月刊「公民館」8月号）

1954年制作、全国視聴覚教育連盟による第1回企画作品である映画「公民館物語」(24分)は、東京都西多摩郡瑞穂町公民館諸団体の協力を得てファースト映画社によって制作された作品である。放送大学千葉学習センターの長澤成次所長は、本作品が国産の社会教育映画の第1号となることに着目し、月刊「公民館」8月号（公民館連合会発行）に標記タイトルにて寄稿した。

筆者は、「今から66年前の映画で語られてい

る言葉と、今のコロナ禍で私たちが使っている言葉が重なりあっていることにもあらためて驚きを感じるのですが、日々の対応に追われるなかにおいても、この映画を地域の方々とともに鑑賞しながら、公民館が地域の公衆衛生に果たしてきた役割と未来にむけた課題について語りあう場を設けてみてはいかがでしょうか。」と語っている。

8月号の記事全文については下記参照。

<http://upl.javea.or.jp/file/upload.cgi?get=00292>



「公民館物語」タイトル画面



公民館のグラウンドでオート三輪の運転技術講座



運営審議会で運営についての議論



川で洗い物をする場面

▽16 ミリ映写機のメンテナンス

コガタ社 中川 望

弊社は東京都文京区で8ミリや16ミリフィルムの調査、機材の貸出などを行っています。また、8ミリ・16ミリ映写機のお問い合わせ窓口を設け、簡単な動作確認やメンテナンスのご相談をお受けしてきました。

その中で、視聴覚ライブラリーからも映写機についてお問い合わせをいただくことがあります。特に、ライブラリーに多く所蔵されている16ミリ映写機、エルモ16CLには、以下のような不具合があり、何かしら対処できないかと考えてきました。

- ローラーのゴムが溶ける
- スプロケットの裏にあるギアがひび割れる

これまでは主に部品取りや、各所で教えていた

だいた方法で自分なりに対応をしてきましたが、このたび、技術者の方々ご協力を得て、ローラーのゴム交換、一部のギア交換が可能になりました。詳細は弊社の下記HPに掲載しております。

全視連HPに掲載されているアンケートや報告書にも、16ミリフィルム・映写機についてご意見が寄せられており、各地の視聴覚ライブラリーに共通する懸案ではないかと思えます。弊社はまだまだ微力ですが、これまでお知り合いになることができた技術者の方々に学びながら、少しずつ16ミリ映写機のメンテナンスを進めていきたいと考えています。どうぞご相談をお寄せいただければと思います。

コガタ社 映写機メンテナンスご相談窓口：

<http://kogatasha.web.fc2.com/maintenance.html>

お詫び

令和2年度の全視連功労者の決定通知文（8月7日付）を送付の際、表彰者全国一覧に愛知県の渡辺幸人氏を誤って愛媛県の欄に記載した印刷物を送付いたしました。訂正してお詫び申し上げます。当連盟HPには修正PDFをアップしてあります。関係の方々にはご迷惑をおかけいたしました。

▽えすけーぷ

前回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴う話題になりますが、多くの職場では在宅勤務やオンライン会議の機会が増えてきています。企業においては、積極的に進めているところと、なかなか取組みができないところに分かれているようですが、行政においても、取組みができていないところがあるようです。

行政では、住民や専門家の参加を得て行う様々な会議や審議会などがありますが、行政としてオンライン会議を実施する環境が整えられていなかったり、いざ実施しようとする、地域住民の方が対応できないという例もあります。手順書を送り、事前テストを行い、といった段階を経て実施することになりますが、対応できない人のための手段も別途用意することになります。

デジタル・デバイド（情報格差）をどのように縮小するかということが世界的な課題になっていますが、情報機器やネットワーク環境の整備とともに、情報機器を使いこなすデジタルリテラシーを身につける機会を確保することが重要です。

子どもたちや若い世代は、学校や会社で身につけていくことができるかもしれませんが、上の世代が身につけられる場所はあるのでしょうか。また、若い世代においても、新入社員がスマホは操作できてパソコンが操作できないという悩みの声も聞こえています。実際、私が主催している小中学生対象のプログラミング講座でも、パソコンでプログラミングをしているときは四苦八苦していた子どもたちが、タブレットを使うプログラムのおかげで一転して生き生きとプログラミングを行っている姿を見るほど、タブレットネイティブ、スマホネイティブ世代だなあと感じさせられています。

かつて国を挙げてIT講習会を展開した時期もありましたが、今や学校や職場以外での習得は個人任せという流れになっているようです。成人の情報リテラシーの向上に視聴覚センター・ライブラリーが役割を果たすことができたら、学習センターとしての機能を果たせていると言えるのではないのでしょうか。（TM）

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

道徳・特別活動

いじめ 心の声に気づく力

小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。一見遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていけば「いじめ」であることを理解し、傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。



指導の手引書・ワークシート付き (19分) 66,000円(税抜)

いじめ 一歩ふみ出す勇氣

中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかこうとする感動的なストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。



指導の手引書・ワークシート付き (19分) 66,000円(税抜)

小学校 社会科

なぜなに社会科 映像資料集

DISC1 飲料水・電気

- 知りたい! 浄水場 (11分)
- 知りたい! 火力発電所 (11分)
- 知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

DISC2 ごみ処理・下水道

- 知りたい! 清掃工場 (10分)
- 知りたい! 資源のリサイクル (13分)
- 知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見ていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金竜小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)
DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

小学校 道徳・特別活動・防犯

情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室

- 1巻 自分も相手も傷つけないために (21分)
- 2巻 危険な目にあわないために (18分)

スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説した作品です。情報モラルを身につけることの大切さを子供たちに訴えます。

監修：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄



教育映像祭優秀賞受賞

各巻 66,000円(税抜)
2巻セット 120,000円(税抜)

文部科学省特別選定
学校教育教材・社会教育(教材)

指導の手引書・ワークシート付き

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03(3535)3613 FAX03(3535)3632

予告編 配信中 <http://www.toei.co.jp/edu/>
教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>